

令和2年度北斗市観光入込客数について

1 観光入込客数の概況

令和2年度に当市を訪れた観光客は、3月を除き、軒並み前年度から低下し、合計約42万9千人となった。この値は令和元年度と比較すると、約31万3千人の減少で前年から42.2%減少したことになる。この値は類を見ないほどの人数であり、過去8年間で最低値となっている。

これらの主要因は新型コロナウイルス感染症に尽きる。外出自粛やイベント中止等により、人の移動が極端に少なくなったことが、観光入込客の減少に繋がったと考えられる。

■前年度との比較

表1 令和2年度と令和元年度の月別・四半期別観光入込客数

(単位：千人)

区分		月別				四半期別			
		令和2年度	令和元年度	前年度差分	対前年度増加率	令和2年度	令和元年度	前年度差分	対前年度増加率
第1四半期	4月	23.2	84.3	△ 61.1	△ 72.5%	92.9	289.0	△ 196.1	△ 67.9%
	5月	29.7	146.5	△ 116.8	△ 79.7%				
	6月	40.0	58.2	△ 18.2	△ 31.3%				
第2四半期	7月	47.4	85.4	△ 38.0	△ 44.5%	159.6	236.2	△ 76.6	△ 32.4%
	8月	56.0	83.1	△ 27.1	△ 32.6%				
	9月	56.2	67.7	△ 11.5	△ 17.0%				
第3四半期	10月	57.4	66.3	△ 8.9	△ 13.4%	119.5	140.5	△ 21.0	△ 14.9%
	11月	40.5	41.8	△ 1.3	△ 3.1%				
	12月	21.6	32.4	△ 10.8	△ 33.3%				
第4四半期	1月	16.8	30.0	△ 13.2	△ 44.0%	56.5	75.6	△ 19.1	△ 25.3%
	2月	16.3	25.9	△ 9.6	△ 37.1%				
	3月	23.4	19.7	3.7	18.8%				
総合		428.5	741.3	△ 312.8	△ 42.2%	428.5	741.3	△ 312.8	△ 42.2%

※観光入込客数は北海道観光入込客数調査に準じて、小数第2位（10人単位）で四捨五入し、小数第1位（100人単位）で記入した。
（以下単位千人の表は同様）

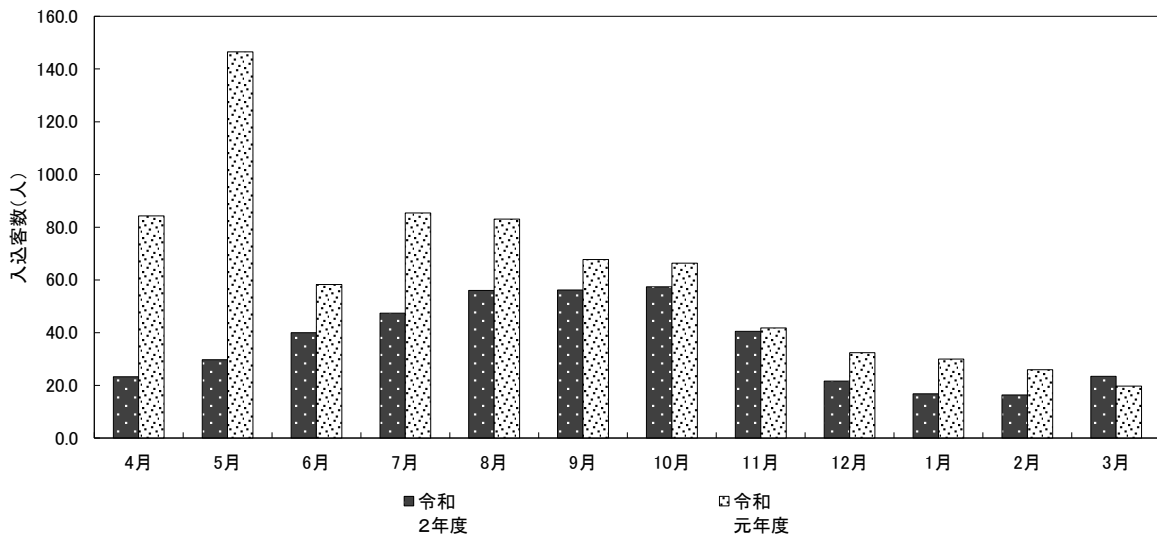


図1 令和2年度と令和元年度の月別観光入込客数比較

■年度別推移

表2 年度別観光入込客数

(単位：千人)

年度	上期 (4～9月)	下期 (10～3月)	合計	
	入込客数	入込客数	入込客数	対前年 増加率
平成24年度	403.9	289.3	693.2	
平成25年度	468.5	250.1	718.6	3.7%
平成26年度	558.0	413.0	971.0	35.1%
平成27年度	766.6	292.2	1,058.8	9.0%
平成28年度	919.3	318.4	1,237.7	16.9%
平成29年度	674.7	322.4	997.1	△ 19.4%
平成30年度	521.5	236.6	758.1	△ 24.0%
令和元年度	525.2	216.1	741.3	△ 2.2%
令和2年度	252.5	176.0	428.5	△ 42.2%

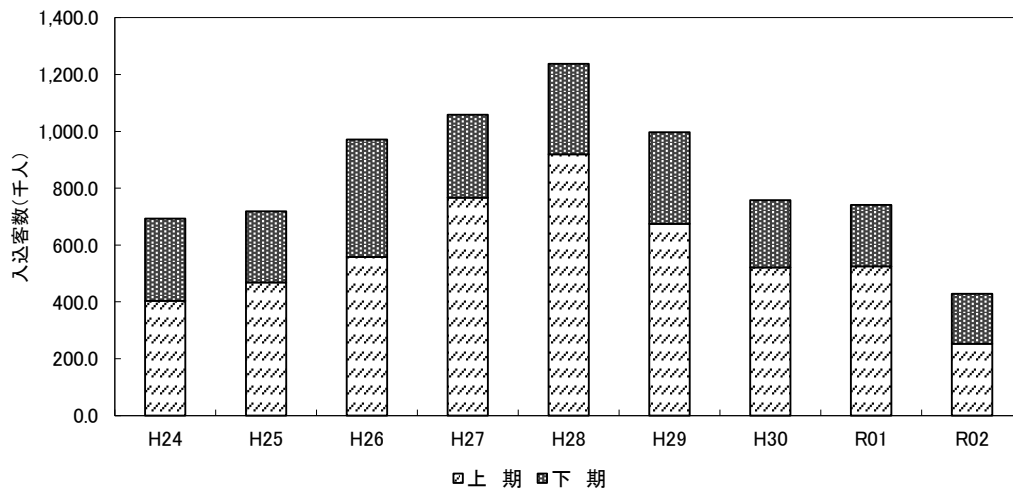


図2 年度別観光入込客数推移

2 道内外別推移

令和2年度の道内容は約34万7千人、道外客は8万2千人となり、前年度に対して道内容は36.3%、道外客は58.5%減少した。道内、道外問わず、新型コロナウイルス流行の影響を受けた結果と考えられる。月別にみると、道内容、道外客共に多くの月で前年度より減少傾向であった一方で、道内容は秋の減少率が他の時期と比べて低く、特に11月については前年度を上回った。11月は紅葉回廊を実施しており、これにより近隣の観光客を取り込むことが出来たと思われる。

■前年度との比較

表3 令和2年度と令和元年度の道内・道外観光入込客数

(単位：千人)

	道内 (構成比)	道外 (構成比)	総合 (構成比)
令和2年度	346.5 (80.9%)	82.0 (19.1%)	428.5 (100.0%)
令和元年度	543.8 (73.4%)	197.5 (26.6%)	741.3 (100.0%)
前年度差分	△ 197.3	△ 115.5	△ 312.8
対前年度増加率	△ 36.3%	△ 58.5%	△ 42.2%

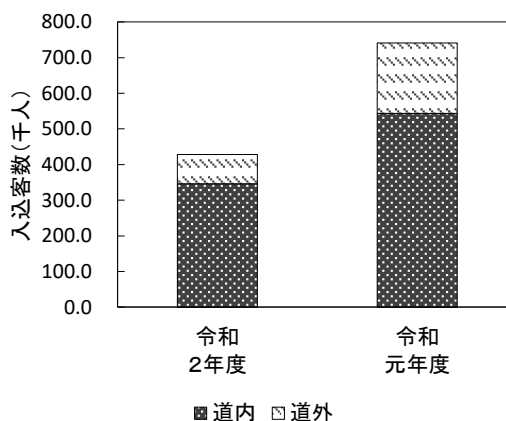


図3 令和2年度と令和元年度の道内・道外観光入込客数比較

■月別比較

表4 令和2年度と令和元年度の月別道内・道外観光入込客数

(単位：千人)

月	道内				道外			
	令和2年度	令和元年度	前年度差分	対前年増加率	令和2年度	令和元年度	前年度差分	対前年増加率
4月	19.0	68.2	△ 49.2	△ 72.1%	4.2	16.1	△ 11.9	△ 73.9%
5月	26.3	120.4	△ 94.1	△ 78.2%	3.4	26.1	△ 22.7	△ 87.0%
6月	34.3	39.8	△ 5.5	△ 13.8%	5.7	18.4	△ 12.7	△ 69.0%
7月	39.4	65.1	△ 25.7	△ 39.5%	8.0	20.3	△ 12.3	△ 60.6%
8月	45.2	54.6	△ 9.4	△ 17.2%	10.8	28.5	△ 17.7	△ 62.1%
9月	44.6	45.0	△ 0.4	△ 0.9%	11.6	22.7	△ 11.1	△ 48.9%
10月	44.5	45.8	△ 1.3	△ 2.8%	12.9	20.5	△ 7.6	△ 37.1%
11月	30.5	30.1	0.4	1.3%	10.0	11.7	△ 1.7	△ 14.5%
12月	17.3	21.6	△ 4.3	△ 19.9%	4.3	10.8	△ 6.5	△ 60.2%
1月	13.6	20.1	△ 6.5	△ 32.3%	3.2	9.9	△ 6.7	△ 67.7%
2月	13.3	17.8	△ 4.5	△ 25.3%	3.0	8.1	△ 5.1	△ 63.0%
3月	18.5	15.3	3.2	20.9%	4.9	4.4	0.5	11.4%
合計	346.5	543.8	△ 197.3	△ 36.3%	82.0	197.5	△ 115.5	△ 58.5%

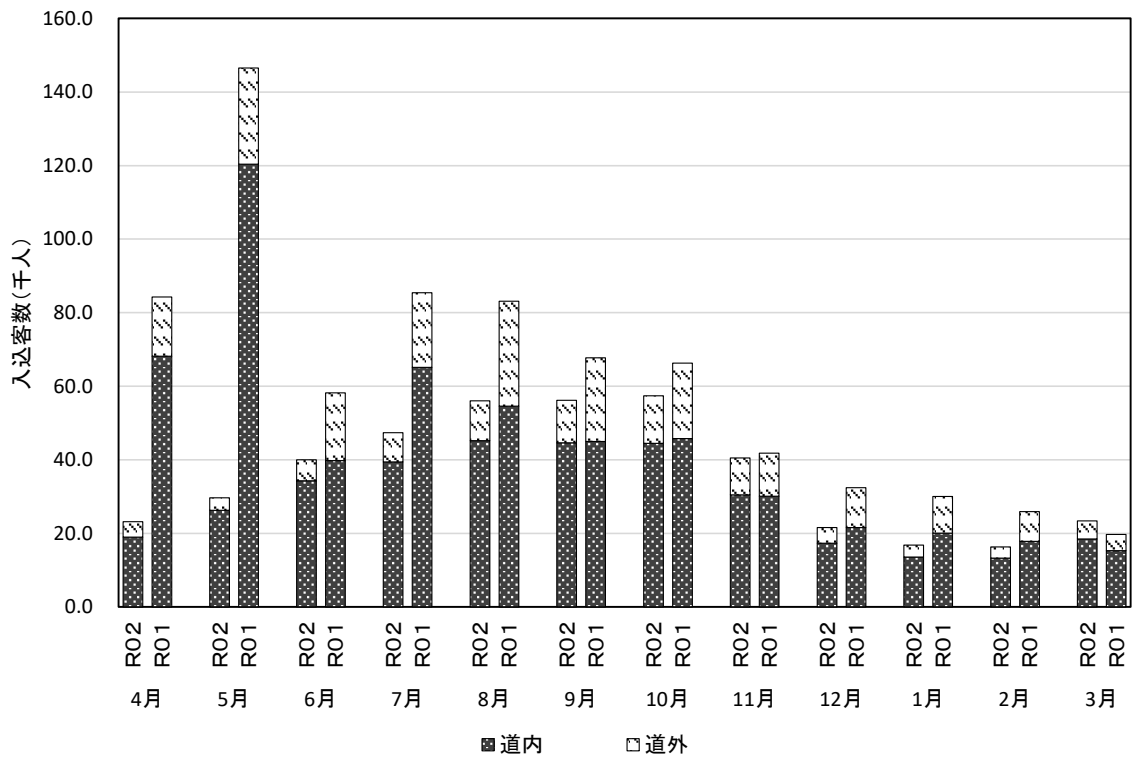


図4 令和2年度と令和元年度の道内・道外観光入込客数月別比較

3 日帰り宿泊別推移

令和2年度の日帰り客は約35万4千人、宿泊客は約7万4千人となり、前年度に対して日帰り客は46.0%、宿泊客は12.8%減少した。日帰り客、宿泊客共に大きな減少が見られ、新型コロナウイルス流行の影響が大きかったことが窺える。

■前年度との比較

表5 令和2年度と令和元年度の日帰り・宿泊客数

(単位：千人)

	日帰り客 (構成比)	宿泊客 (構成比)	総合 (構成比)
令和2年度	354.3 (82.7%)	74.2 (17.3%)	428.5 (100.0%)
令和元年度	656.2 (88.5%)	85.1 (11.5%)	741.3 (100.0%)
前年度差分	△ 301.9	△ 10.9	△ 312.8
対前年度増加率	△ 46.0%	△ 12.8%	△ 42.2%

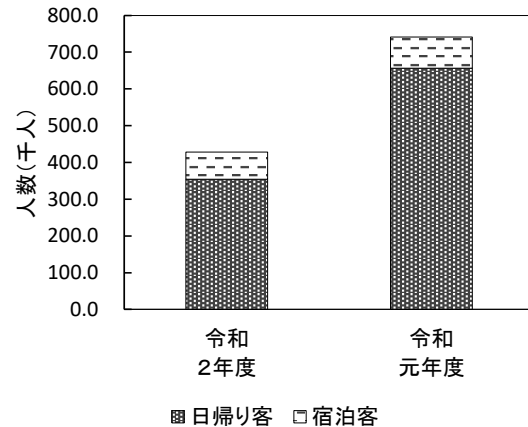


図5 令和2年度と令和元年度の日帰り・宿泊客数比較

■月別比較

表6 令和2年度と令和元年度の月別日帰り・宿泊客数

(単位：千人)

月	日帰り客				宿泊客			
	令和2年度	令和元年度	前年度差分	対前年増加率	令和2年度	令和元年度	前年度差分	対前年増加率
4月	18.9	77.1	△ 58.2	△ 75.5%	4.3	7.2	△ 2.9	△ 40.3%
5月	27.4	139.4	△ 112.0	△ 80.3%	2.3	7.1	△ 4.8	△ 67.6%
6月	35.0	51.7	△ 16.7	△ 32.3%	5.0	6.5	△ 1.5	△ 23.1%
7月	39.2	77.0	△ 37.8	△ 49.1%	8.2	8.4	△ 0.2	△ 2.4%
8月	45.7	71.5	△ 25.8	△ 36.1%	10.3	11.6	△ 1.3	△ 11.2%
9月	43.3	59.4	△ 16.1	△ 27.1%	12.9	8.3	4.6	55.4%
10月	48.3	57.4	△ 9.1	△ 15.9%	9.1	8.9	0.2	2.2%
11月	33.8	34.7	△ 0.9	△ 2.6%	6.7	7.1	△ 0.4	△ 5.6%
12月	17.5	25.7	△ 8.2	△ 31.9%	4.1	6.7	△ 2.6	△ 38.8%
1月	13.8	24.0	△ 10.2	△ 42.5%	3.0	6.0	△ 3.0	△ 50.0%
2月	13.6	21.2	△ 7.6	△ 35.8%	2.7	4.7	△ 2.0	△ 42.6%
3月	17.8	17.1	0.7	4.1%	5.6	2.6	3.0	115.4%
合計	354.3	656.2	△ 301.9	△ 46.0%	74.2	85.1	△ 10.9	△ 12.8%

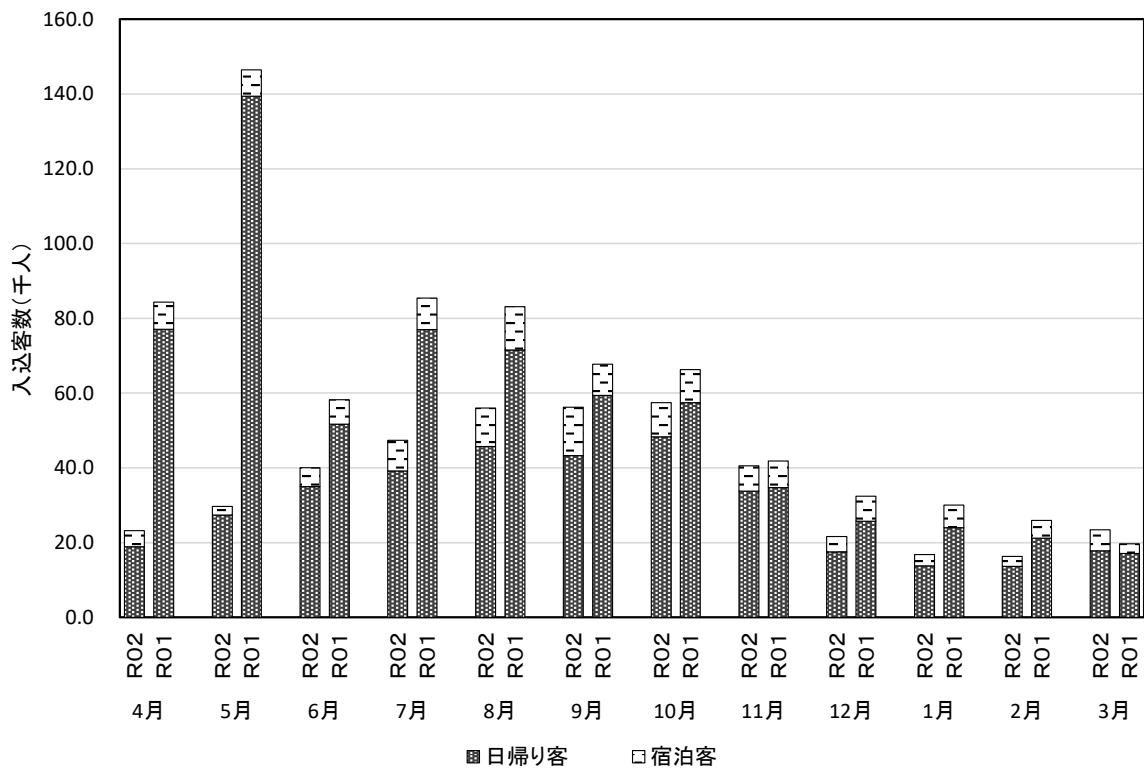


図6 令和2年度と令和元年度の日帰り・宿泊客数月別比較

4 宿泊客数（実人数・延べ人数）推移

宿泊数も新型コロナウイルスの影響を受け、前年度から実人数は12.8%、延べ人数は11.1%減少した。

また、平均宿泊数については、どの月も1泊前後と大きな変動は見られなかった。表7では令和2年度分のみ記載しているが、この傾向は令和元年度についても同様であった。新型コロナウイルスに関係なく、当市では1泊の宿泊利用が多く、長期滞在は少ない傾向があると思われる。

表7 令和2年度と令和元年度の宿泊客数

(単位：千人)

	実人数				延べ人数				令和2年度 平均宿泊数 (泊)
	R02	R01	前年度 差分	対前年度 増加率	R02	R01	前年度 差分	対前年度 増加率	
4月	4.3	7.2	△ 2.9	△ 40.3%	5.0	7.6	△ 2.6	△ 34.2%	1.16
5月	2.3	7.1	△ 4.8	△ 67.6%	2.7	7.3	△ 4.6	△ 63.0%	1.17
6月	5.0	6.5	△ 1.5	△ 23.1%	5.3	6.6	△ 1.3	△ 19.7%	1.06
7月	8.2	8.4	△ 0.2	△ 2.4%	8.6	8.6	0.0	0.0%	1.05
8月	10.3	11.6	△ 1.3	△ 11.2%	10.7	12.1	△ 1.4	△ 11.6%	1.04
9月	12.9	8.3	4.6	55.4%	13.3	8.4	4.9	58.3%	1.03
10月	9.1	8.9	0.2	2.2%	9.3	9.1	0.2	2.2%	1.02
11月	6.7	7.1	△ 0.4	△ 5.6%	7.0	7.2	△ 0.2	△ 2.8%	1.04
12月	4.1	6.7	△ 2.6	△ 38.8%	4.1	6.9	△ 2.8	△ 40.6%	1.00
1月	3.0	6.0	△ 3.0	△ 50.0%	3.1	6.1	△ 3.0	△ 49.2%	1.03
2月	2.7	4.7	△ 2.0	△ 42.6%	2.9	4.8	△ 1.9	△ 39.6%	1.07
3月	5.6	2.6	3.0	115.4%	5.8	2.8	3.0	107.1%	1.04
合計	74.2	85.1	△ 10.9	△ 12.8%	77.8	87.5	△ 9.7	△ 11.1%	1.05

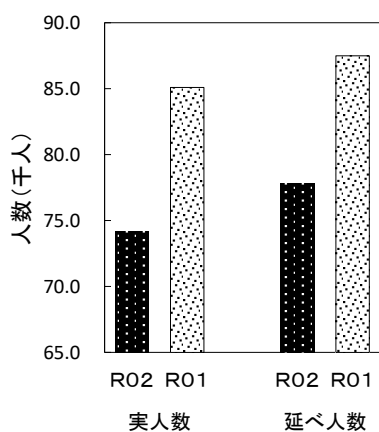


図7 令和2年度と令和元年度の宿泊客実人数、延べ人数比較

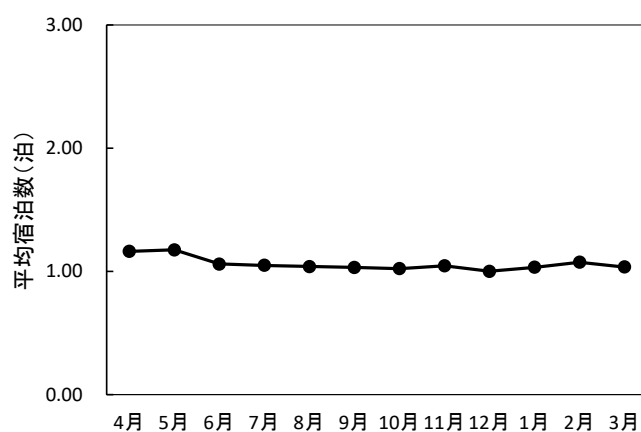


図8 令和2年度月別平均宿泊数

5 訪問外国人宿泊客数

令和2年度の訪問外国人宿泊数は134人となり、前年度実績24,076人に対して大幅に減少（対前年度増加率△99.4%）した。新型コロナウイルス流行の影響を受け、海外からの入国は強い制限を受けており、今後も制限は続くと考えられることから、海外客の来訪やインバウンドは当面の間、期待できないと思われる。

表8 令和2年度の外国人宿泊客数

(単位：人)

	ベトナム	カナダ	アメリカ	中国	韓国	台湾	ドイツ	オーストラリア	その他	合計
4月	0	0	1	0	3	0	0	0	1	5
5月	0	0	1	4	1	0	0	0	1	7
6月	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
7月	0	0	0	5	0	0	5	4	2	16
8月	1	10	4	1	2	8	0	0	0	26
9月	0	1	0	1	2	0	0	1	2	7
10月	0	0	0	0	1	0	0	0	5	6
11月	0	0	2	1	0	0	0	0	8	11
12月	4	1	2	0	0	0	0	0	5	12
1月	4	7	0	2	0	0	0	0	6	19
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
3月	9	0	5	0	0	0	0	0	7	21
合計	20	19	15	14	9	8	5	5	39	134
(参考) 前年度 合計	34	110	643	2,660	233	8,009	125	435	11,827	24,076

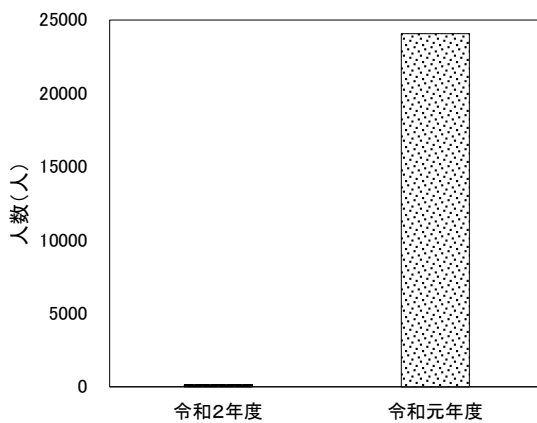


図9 令和2年度と令和元年度の外国人宿泊数比較

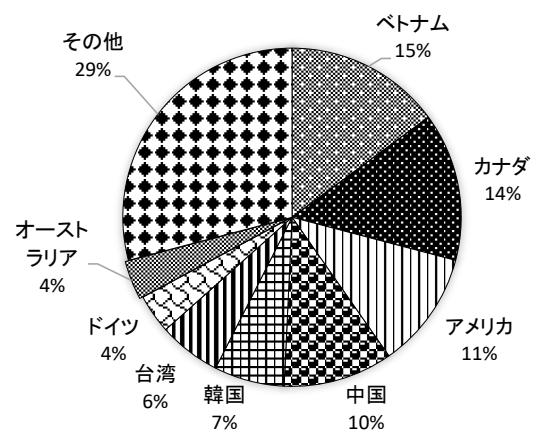


図10 令和2年度の外国人宿泊数 国別内訳

※その他に含まれる国：令和2年度来訪客数5人未満の国

6 総括

令和2年度は新型コロナウイルス流行の影響を当市も例外なく受け、観光入込客数が大きく減少した。新型コロナウイルスの終息はまだ道長く、当面この影響は続くと考えられる。国内外を問わない移動の自粛や制約、大規模イベントの開催自粛等が求められる中で、どのような形で観光入込客数を獲得していくかが、私たちの課題となる。人の移動や接触を避けるコロナウイルスへの対応と人を呼びたい観光政策は相反するもので、非常に難しい状況ではあるが、当市の発展に寄与するため、引き続き課題に取り込んでいきたい。